

平成の職人技を結集した
高野山奥之院生身供「^{カラビツ}唐櫃」の見どころ



鬼板

八葉蓮華紋の彫刻に岩絵の具を用い一際あでやかな纒綯彩色を施す。

(彫刻：徳島県 楠木俊治)
(彩色：京都府 中嶋正起)



屋根

形状は格式高い唐破風屋根で、最高級の檜皮葺。棟の中には千年もつ手漉き和紙に寄進者名を書き奉納する。

(屋根葺：岡山県 児島 研輔)
(奉書紙：福井県 岩野市兵衛)

黒漆塗り

黒漆塗りの最高峰、木地強化の布着せに蝋色仕上げ。

(漆塗り：富山県 柳田芳和)



飾り金具

黒漆の地を生かした透かし彫りの宝相華唐草紋に、小口には高野山の寺紋「三つ巴」と「五三の桐」。

(金具：京都府 森本靖三・章大)



四隅の飾り紐

高貴な朱色の絹糸を使用し「菊結びに房」を手組み。

(飾り紐：京都府 坂田憲男)



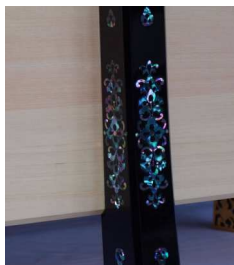
(基本設計：富山県 上野 幸夫)
(施工 図：愛知県 望月 義伸)
(棟 梁：富山県 田中健太郎)



隅留め

最高の技術と手間を要し、最も難しい留仕事である、秘伝書「菊天秤の逆」を再現。

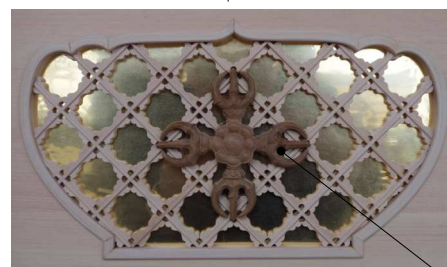
(木工：富山県 舟木聡史)



足の螺鈿

宝相華唐草紋の螺鈿細工は、0.1ミリのあわび貝を型切りし、赤と青を使い分ける。

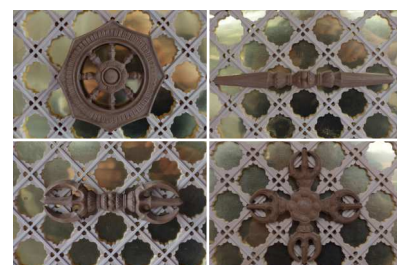
(螺鈿：富山県 武蔵川義則)



格狭間

最高の組子技である、一木作り出しの「花狭間」に、地は最高の縁付き金箔、中央には密教法具を施す。

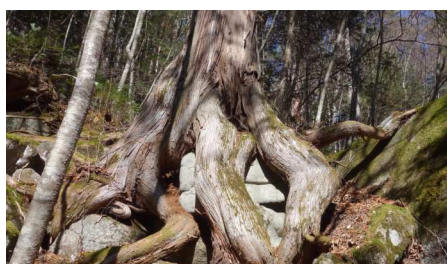
(組子：長野県 横田栄一)
(金箔：石川県 塚本守利)



密教宝具

空海が唐より持ち帰った国宝の密教法具等を参考に本白檀で彫刻。

「輪宝」「独鈷杵」「三鈷杵」「羯磨」
(彫刻：富山県 南部白雲)



材料等

主要木材は伊勢神宮御造営の「神宝材」に用いられる最高のも曾檜。密教法具彫刻の木材は、現在では入手困難である香木の本白檀。

硬い本白檀や隅留め加工には、特殊な目立ての鋸を製作して加工。
(檜：長野県 池田聡衛・本白檀：富山県 南部白雲・鋸：京都府 長津勝一)